

## ダイヤモンド・プリンセス号に係る医療支援活動に従事した皆さまへ

ダイヤモンド・プリンセス号に係る支援活動について、3月16日にクルーズ船乗員の方々が、一時滞在していた施設から退去し、大きな一区切りができました。2月3日のクルーズ船の横浜港入港後、医療支援活動に当たっていただいた関係者、派遣元機関の皆さまに対して、心より御礼を申し上げます。

多くの機関、団体、医療従事者、専門家等に参画いただき、ダイヤモンド・プリンセス号に係る一連の医療支援活動が実施されました。現場では、さまざまな困難がある中、連日、感染防止策の徹底、発症者の診察、健康管理、心のケア、検疫、PCR検査の検体採取等の業務を行っていただきました。それぞれの関係者の皆さまが、状況に応じて適切な対応を考え抜き、協力を重ねながら一つひとつの問題を解決いただいたことで、ここまでの状況に至ることができました。皆さまの医療支援活動に対しては、国内外から多くの感謝の言葉が届いております。

皆さまには、感染のリスクがある中、強い精神的なストレスに晒されながら、使命感をもって医療支援活動にあたっていただきました。ご家族、ご友人、職場の同僚を始め、周りの方々にも大きなご心配をおかけしたことと思います。新型コロナウイルス感染症の国内での感染拡大を食い止めたい、そして宿泊施設やクルーズ船等で不自由な生活を過ごされた乗客・乗員の方々に健康に日常生活へ戻ってほしいという皆さまの強い気持ちと、献身的な努力なくして、これら新型コロナウイルスに関連する一連の医療支援活動は実行し得ませんでした。重ねて、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

クルーズ船乗員の方々の施設退去が完了したことで、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号に係る支援活動は大きな一区切りを迎えました。しかし新型コロナウイルス感染症との戦いはまだ終わっていません。皆さまは、宿泊施設やクルーズ船等を離れ、既に元の持ち場に帰っていただいていることと思いますが、それぞれの立場で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を含む住民の皆さまへの地域医療の提供に引き続きご支援、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

末筆ながら、今後の皆さまのさらなるご活躍を深くお祈り申し上げます。

令和2年5月18日

厚生労働大臣

**加藤勝信**